

よりそう医療

つたわる想い

Nagaoka
Nishi
Hospital

社会医療法人 崇徳会 長岡西病院

社会医療法人 崇徳会

〈経営理念〉

私たちは、自分や家族、友人が必要なとき入院したい、通院したいと考えるような医療機関として、患者様に信頼され、納得していただける良質な医療サービスを提供します。

〈基本方針〉

私たちは、患者様に対し、わかり易く良質な医療サービスを提供するように努めます。

私たちは、保健・医療・福祉の密接な連携をとりながら医療サービスの提供に努めます。

私たちは、明確な目標を設定し、職員としての質の向上・レベルアップのために、日々の積み重ねや改善をしながら、標準化の整備・更新に努めます。

私たちは、地域社会と緊密に交流し、実習や研修、ボランティア等を積極的に受け入れ、次世代を育成する場の提供に努めます。

長岡西病院

〈基本方針〉

長岡西病院は、法人の経営理念・基本方針に基づき、次に掲げる医療を実践していきます。

疾病の治療・予防・健康増進にとりくみ地域の人々の健康づくりをめざします。

種々の医療機関、福祉施設や機能など地域社会とのネットワークを密にしながら治療、介護、在宅ケアまで考慮した質の高いリハビリテーション医療をめざします。

緩和ケア病棟「ビハーラ」を開設し「いのち」の尊さを大切に安らぎの医療と看とりの実践をめざします。

「長岡医療と福祉の里」の基幹病院として関連施設の医療のサポートをいたします。



患者様の立場に立った 良質な医療サービスを提供します。

当院は平成4年5月1日に開設され令和4年で創立30年を迎えました。その間、当院の理念である「医療人である自分自身やその家族、友人が安心して入院、通院ができる病院を目指し、患者様の立場に立ち、患者様に信頼され、さらに納得して頂ける医療サービスを提供する」ことを忘れることなく精進してまいりました。これを分かり易く言い表せば「心温まり安心して治療を受けられる病院」を目指してきたと言えます。

そのため、病院の外来や入院を問わず、皆様のご意見を拝聴するために「もしもし院長」なる投書制度を設け、皆様のご意見を拝聴しておりました。その中には、皆様のご指摘で初めて気づくことも多くございました。皆様の有難い貴重など意見を参考に、少しでも病院の理念に近づけるように今後も日々、努力して行きたいと考えております。

さて当院の特徴としては、大病院のような高度急性期医療はできませんが、その代わりにご高齢な患者様の「急性期治療から在宅医療への橋渡し治療」を行う事を目標にしております。

皆様、すでにご承知のように我が国は少子高齢化の時代となり、ご高齢な患者様はたびたびご病気をされるので「完べきな治療から、ご病気はお持ちでも少しでもご自宅で過ごせるようなお世話する時代」となりました。「大病院での急性期治療で病状はやや安定したが、まだご自宅や施設に戻るには病気そのものの治療やリハビリ治療が必要な患者様」や「比較的軽い病状だが入院治療が必要な患者様」の受け入れ病院が必要で、当院は急性期病院とご自宅をつなぐ中間的病院を目指しています。

当院は令和3年度に急性期病棟の一部を「地域包括ケア病棟」に病床変更致しました。さらに、退院後も当院でのリハビリ治療を継続するため通所・外来リハビリテーション室を開設したうえ、訪問リハビリテーションにも力を注いでいます。また開設当初からのがん患者様やそのご家族の皆様の肉体的、精神的緩和ケアを目指す「ビハーラ病棟」も引き続き運営しています。

私共にとりましては患者様やそのご家族様が「ああ、西病院に通院していて、入院していて良かったね」と思って頂けるような病院を目指し、職員一同、今後も日々、精進して行きたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

長岡西病院 院長 永井 恒雄

N 地域密着型病院としての機能

地域に密着した中核的病院として、細やかな地域連携を行っています。
 ご相談の段階から患者さまの退院後を見据えて、多職種スタッフで支援を行い、暮らしを支えるサポートを目指します。

1. 紹介・連携窓口

他医療機関から紹介いただきました患者さまの受診・入院調整を行います。また紹介患者さまの転帰報告や、診療に関する様々な情報提供、及び情報管理にも努めております。

2. 他医療機関への紹介

当院ご利用の患者さまについて、より高次の医療を必要とする場合、また当院専門外の医療を行う必要が生じた場合に適切な医療機関へ紹介、連絡調整などを行ないます。

3. 地域連携パスなどの事務連絡

中越地区脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部近位部骨折パスの受付、および事務連絡の窓口になります。

4. 医療機関からの検査依頼、医療機器・施設利用依頼

他医療機関からの検査依頼や、高額医療機器の共同利用の依頼をします。



□診療科目

内科、神経内科、心療内科・精神科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、歯科、麻酔科、放射線診断科

□専門外来

ものわすれ外来（神経内科）、ペインクリニック（麻酔科）、ビハラー外来（緩和ケア）、人間ドック、脳ドック、企業健診、一般健診、特定健診・特定保健指導 等

□病床数 240床

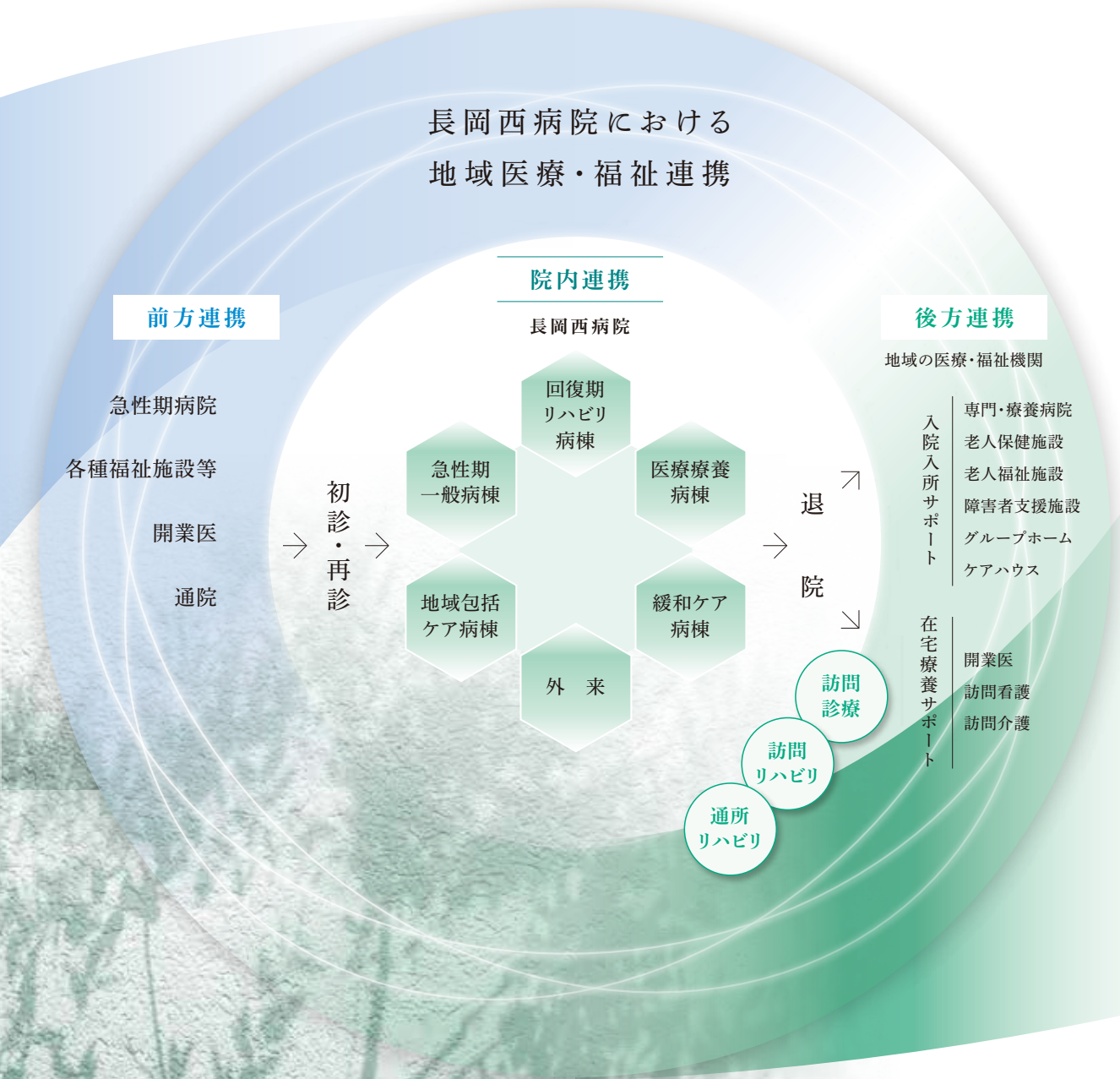
2階北病棟：60床 療養病床
 3階北病棟：55床 療養病床
 3階西病棟：45床 一般病床
 4階西病棟：51床 療養病床
 5階西病棟：29床 一般病床

□医療設備

MRI装置（1.5テスラ以上3テスラ未満）、全身用CTスキャナー（16列以上64列未満のマルチスライス型）、自動分析装置、内臓脂肪（メタボリックシンドローム）測定システム、早期アルツハイマー型認知症診断支援システム



長岡西病院における 地域医療・福祉連携



N 各病棟の役割

□ 2階北病棟

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患者さまに対して、寝たきり防止と自宅退院に向けたリハビリテーションを行います。

担当スタッフがチームを組み、患者さまにあったリハビリプログラムを検討しながら取り組んでいます。

□ 3階西病棟

急性期一般病棟

肺炎、心不全などさまざまな疾患の方が入院される急性期病棟は高齢の方の入院が多いため、身体ケアや認知症などへの対応にも力を入れています。

また、亜急性期病棟は急性期病院で治療を終えた患者さまの、リハビリ目的による転院を受け入れています。



□ 3階北病棟

地域包括ケア病棟

急性期病院からの転院、自院の急性期病棟からの転棟、自宅などからの緊急入院、在宅介護のレスパイトなど、様々な入院ニーズに対応できる病棟です。

60日という限りはありますが、医師をはじめとした多職種が関わり、住み慣れた自宅などに安心して退院していただくために取り組んでいます。

□ 4階西病棟

医療療養病棟

急性期の病状が治まり、主に慢性期の状態にある患者さまにリハビリなどを行いながら、退院に向けて準備する病棟です。

在宅や施設を視野に入れ、本人と家族の思いにそった退院調整に医療チームで取り組んでいます。

□ 5階西病棟

緩和ケア（ビハーラ）病棟

末期がんによる痛みをできるだけ緩和し、自分らしい生活が送れるようお手伝いする病棟です。

ビハーラとはインドの経典に使われている言葉で「休養の場所」「僧院」を意味します。



N 健康管理室

企業検診と人間ドック・脳ドックを主な業務としており、申し込みから結果送付、請求までを行っています。

長岡市の住民検診（子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、胃がんリスク検診）や肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンの予防接種の受付、実施なども行っています。

□ 企業検診

労働安全衛生法に基づいて定期健康診断、特定業務健診の受診が義務づけられている企業の健康診断を行っています。

□ 人間ドック

健康状態の把握や、病気の早期発見を目的として、血液検査、胃内視鏡検査、腹部超音波検査などを行っています。オプション検査として頸動脈超音波検査、子宮がん、乳がん、前立腺がん検査なども行います。

□ 脳ドック

MRIを使って脳動脈瘤がないかを調べたり、血液検査、心臓超音波検査、頸部超音波検査を併せて行い、血液の異常や血管の狭窄等を調べます。

様々な検査を行うことで脳の病気の早期発見と脳卒中の予防に役立っています。



N 医療福祉相談室

通院や入院に伴っておくる患者さまご家族の不安、心配事に医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場からご相談を受けします。



N 地域医療連携室

医療機関と連携し、患者さまの診療をスムーズに行う地域医療の窓口が「地域医療連携室」です。

外部医療施設から患者さまを紹介いただき受診の調整を行う「前方連携」。当院から外部医療機関・福祉施設へ患者さまを紹介する「後方連携」。この2つの連携業務のコーディネイトを主に行っております。

N 質の高い総合リハビリテーション医療実現のための体制と設備を備えています



□ リハビリテーションセンター

オレンジ色のビタミンカラーで彩られた415㎡のリハビリテーションセンターは、歩行や日常生活活動をはじめとした、様々な機能回復訓練に使用されています。言語聴覚室(個室・防音)を4部屋備えています。

□ 通所・外来リハビリテーション室

四季折々の景観と自主トレーニング可能なマシンを備え、短時間通所リハビリテーション(介護保険)と外来リハビリテーション(医療保険)を行っています。



□ ドライビングシミュレーター

主に脳卒中後の高次脳機能障害に対する自動車運転再開支援を目的として、実際の運転場面や状況に近い環境で訓練を行っています。

場所や天候の状況設定ができ、運転結果のリプレイ再生も可能なため振り返りを通した高い学習効果が期待できます。

Rehabilitation Support



□ 屋外訓練場 みどりの広場

そとの空気を吸いながら、楽しんで歩ける多様な路面を備えた訓練場で、身体機能の回復を支援します。表情豊かな回遊式日本庭園と視界の開けた花壇庭園は四季折々の花に彩られ、みどりを楽しみながら体力づくりがしやすい環境です。

N 退院後のフォローアップ体制

訪問診療をはじめ、多職種によるスタッフが様々な角度から患者さまを支援します

□ 訪問リハビリテーション

自宅内歩行訓練

ご自宅の環境に合わせて訓練を実施します。また、福祉用具のご提案などもさせていただきます。

在宅言語訓練

上手く食べることができない方に嚥下訓練、言葉がしゃべり難い方に失語症訓練、道具を上手く使えない方に高次脳機能訓練をご自宅ですさせていただきます。



□ 在宅患者訪問栄養食事指導（居宅療養管理指導）

患者さまのお宅に伺い、食生活改善や低栄養予防のための調理指導・食事相談をさせていただきます。



□ 在宅患者訪問薬剤管理指導

患者さまのお宅に伺い、お薬を正しく使うためのお手伝いをします。



□ 認知症疾患医療センター

認知症疾患に対する鑑別診断と初期対応、認知症の行動・心理症状と身体合併症の急性期治療に関する対応、専門医療相談、診断後の相談支援などを行います。認知症に関する知識を有する精神保健福祉士が医療相談を実施し、適切な医療機関などへの紹介を行います。

また、地域保健医療・介護関係者などへ研修を実施し、地域において必要となる医療提供機能の体制構築を図っていきます。

□ すとく・こぶし認知症ネット

認知症の各段階に対応し、総合力で支援します

医療法人崇徳会（長岡西病院・田宮病院・地域総合サービスセンター）と高齢者総合ケアセンターこぶし園が展開する、認知症の予防・治療・リハビリ・生活介護の総合支援ネットワークです。

□ 里ネット 崇徳厚生事業団 インフォメーションセンター

「崇徳厚生事業団」は社会医療法人崇徳会、長岡福祉協会、社会福祉協会長岡老人福祉協会等で構成するグループの総称です。

インフォメーションセンター

崇徳厚生事業団の相談員が「グループ内のサービスについて」「医療・福祉・介護などの制度について」お問い合わせを受け付けております。

フリーダイヤル0120-310-771



各ホームページで詳しい情報をご覧ください



○越後交通バスをご利用の方

- 1 長岡駅前（大手口8番線・中央循環バス「くるりん」外回り）から16分→「長岡西病院前」下車（徒歩1分）
 - 2 長岡駅前（関原・柏崎線他5・6番線）から15分→「西長岡停留所」下車（徒歩3分）
- ※「西長岡停留所」は、高速バス（新潟～長岡線、上越～長岡線）も停車します。
※詳しくは当院にお問い合わせください。

○「長岡医療と福祉の里」によるマイクロバスをご利用の方

無料バスが長岡駅前から運行しております。
※詳しくは当院にお問い合わせください。